

琵琶湖環境に関する調査検討の説明状況（淀川水系流域委員会第2回ダムWG資料1-1より抜粋）

項 目	これまで	今回	次回以降	流域委員会・一般住民からの意見	記載事項
1) 琵琶湖環境全般について課題と整理	-	-	-	【委】流域のさまざまな環境情報を集約、解析し、河川環境の保全・回復の指標を設定し、良好な自然が残されている地域や、環境回復を行う必要がある地域等の区分を行うとともに、環境保全・回復の手法や技術を積極的に開発する必要がある。	意見書
課題と改善策の検討					
改善策の効果予測の検討及び総合評価					
2) 生態系に配慮した水位変動の検討	-	-	-	【委】現在の瀬田川洗堰の水位操作が琵琶湖の生物の生息・生育環境及び湖岸形状に及ぼす影響は深刻であり、自然的な季節変動をできる限り尊重して水位操作の見直しを行うことは不可欠。	意見書
				【住】琵琶湖の水位操作によって環境など障害がでている面を考えるべき。	対話討論会
過去における水陸移行帯の生物調査					
コイ科魚類の産卵・成育実態調査					
その他の生物調査					
水位変動が生態系に与える影響評価					
対策案の提示				【委】大戸川ダムは、「琵琶湖における急速な水位低下の抑制」について、効果は認められるものの、それが琵琶湖の自然環境にどの程度改善をもたらすかが不明である。 【委】丹生ダムは、「琵琶湖水位の急速な低下と低水位の長期化の抑制」において、水位の抑制効果だけではなく、それがもたらす琵琶湖の自然環境への改善効果を明らかにする必要がある。	意見書
3) 水陸移行帯の保全・再生の検討	-	-	-	【委】琵琶湖における水陸移行帯の保全・回復をはかるため、湖と河川や陸域との連続性の確保と修復については早急に推進するべきである。	意見書
琵琶湖岸全域の水陸移行帯の状況把握					
モデル地域の実態把握調査					
モデル地域での再生の研究					
対策案の提示					
4) 水質改善の検討	-	-	-	【委】基礎原案に示された琵琶湖の水質保全に関わる施策は、いずれも重要であり、調査を実施する必要がある。 【住】水量の問題より水質の問題が重要	意見書 対話討論会
現状での水質の状況把握					
現状での対策方法の把握					
5) その他の検討	-	-	-		
個別の課題の抽出と整理					
対策案の提示					
6) 社会的な取り組みに関する検討	-	-	-		
課題の抽出と整理					